

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 ティ・エス テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7313 URL <http://www.tstech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古明地 利雄
 問合せ先責任者 (役職名) CSR部広報課長 (氏名) 倉田 真秀 (TEL) 048(462)1121
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	267,617	28.8	18,125	583.1	19,857	473.2	12,193	—
24年3月期第3四半期	207,713	△23.1	2,653	△83.4	3,464	△79.1	727	△91.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 15,790百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △3,384百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	179.32	—
24年3月期第3四半期	10.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	195,684	125,609	57.5	1,656.02
24年3月期	189,343	112,247	53.3	1,484.55

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 112,606百万円 24年3月期 100,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	14.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	357,000	16.9	22,500	139.3	24,500	124.2	14,000	197.1	205.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	68,000,000株	24年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,709株	24年3月期	1,645株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	67,998,351株	24年3月期3Q	67,998,363株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは、大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における連結業績は、北米を中心とした自動車需要の回復を背景に、総じて順調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,676億17百万円と前年同期に比べ599億4百万円（28.8%）の増収となりました。利益面では、増収効果や原価低減効果により、営業利益は181億25百万円と前年同期に比べ154億72百万円（583.1%）の増益となりました。経常利益は198億57百万円と前年同期に比べ163億93百万円（473.2%）の増益、四半期純利益は121億93百万円と前年同期に比べ114億65百万円（1,575.7%）の増益となりました。

なお、セグメントごとの業績は次のとおりです。

(日本)

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	73,515	75,256	1,741	2.4%
営業利益	△196	5,062	5,258	—%

前期との主な増減理由

売上高 主要客先からの受注台数減少はあるものの、ロイヤリティや海外向け供給部品売上の増加により増収

営業利益 増収効果に加え、減価償却方法の変更等により増益

(米州)

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	77,513	121,610	44,097	56.9%
営業利益	△144	7,517	7,662	—%

前期との主な増減理由

売上高 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、主要客先の正常稼働に加え、北米市場の需要回復を背景に受注台数が増加したことにより増収

営業利益 受注の増加に伴う諸経費の増加はあるものの、増収効果により増益

(中国)

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	46,501	58,332	11,830	25.4%
営業利益	3,595	6,274	2,678	74.5%

前期との主な増減理由

売上高 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、主要客先の正常稼働による受注台数の回復により増収

営業利益 人件費上昇影響等はあるものの、増収効果や原価改善効果により増益

(アジア・欧州) ※

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	26,207	33,656	7,449	28.4%
営業利益	2,189	2,515	325	14.9%

前期との主な増減理由

売上高 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、タイの洪水に伴う操業停止影響はあるものの、主要客先からの受注台数が増加したことにより増収

営業利益 タイの水害に伴う諸費用の増加はあるものの、増収効果により増益

※平成24年4月1日より、「アジア・UK」のセグメントの名称を「アジア・欧州」に変更しました。

また、事業別の売上高については下記のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間		当第3四半期 累計期間		前期比増減額	前期比増減率
		構成比		構成比		
二輪事業	4,694	2.3%	4,787	1.8%	93	2.0%
四輪事業	200,548	96.5%	260,187	97.2%	59,639	29.7%
(シート)	175,357	84.4%	230,682	86.2%	55,325	31.5%
(内装品)	25,190	12.1%	29,504	11.0%	4,314	17.1%
その他事業	2,470	1.2%	2,642	1.0%	172	7.0%
合計	207,713	100.0%	267,617	100.0%	59,904	28.8%

前期との主な増減理由

二輪事業 インドにおいて主要客先からの受注台数の増加により増収

四輪事業 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、北米を中心とした自動車需要回復を背景に、主要客先からの受注台数が増加したことにより増収

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,956億84百万円と前連結会計年度末に比べ63億41百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が増加したことに加え、新機種投資および埼玉工場の新シート生産工場建設等により有形固定資産が増加したことが主な要因です。

(負債)

負債合計は、700億75百万円と前連結会計年度末に比べ70億20百万円の減少となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加したことに加え、増益に伴う資金繰りの改善等により、短期借入金が減少したことが主な要因です。

(純資産)

純資産合計は、1,256億9百万円と前連結会計年度末に比べ133億61百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の実績、現時点における主要客先からの受注動向及び為替動向等を踏まえ、以下のとおり平成24年10月30日公表の連結業績予想を変更しています。

なお、為替レートは下期平均で1米ドル=83円、1人民元=12.7円を前提としています。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	356,500	20,500	21,500	12,000	176 47
今回修正予想 (B)	357,000	22,500	24,500	14,000	205 88
増減 (B-A)	500	2,000	3,000	2,000	
増減率 (%)	0.1	9.8	14.0	16.7	
(ご参考) 前年実績 (平成24年3月期)	305,482	9,401	10,927	4,712	69 31

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

従来、当社及び国内連結子会社の減価償却方法は定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）については、定額法）を採用していましたが、第1四半期連結累計期間より、定額法へ変更しました。

この変更は、効率的かつフレキシブルな生産体質改革を進めた結果、今後も中長期的に安定した資産の使用が見込まれることから、減価償却費を均等配分することがより適切であると判断したためです。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ664百万円増加しています。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,434	53,792
受取手形及び売掛金	52,416	48,610
商品及び製品	2,251	2,134
仕掛品	1,900	2,424
原材料及び貯蔵品	15,790	17,219
その他	6,831	6,404
貸倒引当金	△23	△21
流動資産合計	126,602	130,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,899	17,062
機械装置及び運搬具（純額）	11,451	11,441
その他（純額）	15,643	17,330
有形固定資産合計	42,994	45,834
無形固定資産	1,173	1,201
投資その他の資産	18,572	18,083
固定資産合計	62,740	65,119
資産合計	189,343	195,684
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,961	45,116
短期借入金	4,298	1,997
1年内返済予定の長期借入金	221	1,458
未払法人税等	933	1,084
引当金	2,009	1,224
その他	11,944	11,093
流動負債合計	67,368	61,975
固定負債		
長期借入金	2,486	1,193
引当金	681	636
その他	6,558	6,270
固定負債合計	9,727	8,100
負債合計	77,095	70,075

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,700	4,700
資本剰余金	5,163	5,163
利益剰余金	99,213	109,611
自己株式	△3	△3
株主資本合計	109,073	119,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,089	7,098
為替換算調整勘定	△15,216	△13,963
その他の包括利益累計額合計	△8,126	△6,865
少数株主持分	11,300	13,002
純資産合計	112,247	125,609
負債純資産合計	189,343	195,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	207,713	267,617
売上原価	188,924	231,343
売上総利益	18,788	36,274
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,243	2,748
給料及び手当	6,996	7,588
その他	6,894	7,811
販売費及び一般管理費合計	16,135	18,148
営業利益	2,653	18,125
営業外収益		
受取利息	647	602
受取配当金	218	235
受取地代家賃	172	151
為替差益	—	322
持分法による投資利益	282	290
その他	269	281
営業外収益合計	1,589	1,884
営業外費用		
支払利息	169	143
為替差損	543	—
その他	66	9
営業外費用合計	779	153
経常利益	3,464	19,857
特別利益		
固定資産売却益	200	27
負ののれん発生益	—	9
受取保険金	69	8
受取補償金	—	18
その他	13	4
特別利益合計	282	69
特別損失		
固定資産売却損	68	23
固定資産除却損	146	112
減損損失	—	39
災害による損失	59	366
その他	4	34
特別損失合計	278	576
税金等調整前四半期純利益	3,468	19,350
法人税、住民税及び事業税	1,239	5,015
法人税等合計	1,239	5,015
少数株主損益調整前四半期純利益	2,228	14,334
少数株主利益	1,500	2,140
四半期純利益	727	12,193

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,228	14,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,478	7
為替換算調整勘定	△4,143	1,421
持分法適用会社に対する持分相当額	9	27
その他の包括利益合計	△5,612	1,456
四半期包括利益	△3,384	15,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,078	13,455
少数株主に係る四半期包括利益	693	2,335

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	59,782	77,513	44,268	26,148	207,713	—	207,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,732	—	2,233	58	16,025	△16,025	—
計	73,515	77,513	46,501	26,207	223,738	△16,025	207,713
セグメント利益又は損失(△)	△196	△144	3,595	2,189	5,445	△2,791	2,653

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,791百万円には、セグメント間取引消去255百万円、親会社の
本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△2,873百万円を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	57,295	121,610	55,058	33,652	267,617	—	267,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,961	—	3,273	3	21,238	△21,238	—
計	75,256	121,610	58,332	33,656	288,856	△21,238	267,617
セグメント利益	5,062	7,517	6,274	2,515	21,370	△3,244	18,125

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,244百万円には、セグメント間取引消去228百万円、親会社の本社管理部門
にかかる配賦不能営業費用△3,040百万円を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結累計期間より、報告セグメントのうち「アジア・UK」の名称を「アジア・欧州」に変更しましたが、当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称に基づき作成しています。
- (2) 「会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、従来、当社及び国内連結子会社の減価償却方法は定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）については、定額法）を採用していましたが、第1四半期連結累計期間より、定額法へ変更しました。当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が664百万円増加しています。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「米州」セグメントにおいて、売却予定価額が帳簿価額を下回っている建物等の固定資産及び遊休状態にある固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては39百万円です。

（重要な負ののれん発生益）

当社連結子会社であるテイエス テック サン ラジャスタン プライベート リミテッドの株式を平成24年12月5日に追加取得したことに伴い、「アジア・欧州」セグメントにおいて9百万円の負ののれん発生益を計上しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。

(6) 重要な後発事象

平成24年8月31日開催の取締役会決議に基づき、平成25年1月4日にタイ バンコクに当社子会社を設立しました。

① 設立会社の概況

・商号	テイエス テック エイシアン カンパニー リミテッド
・所在地	タイ バンコク
・設立年月日	平成25年（2013年）1月4日
・資本金	150,000千バーツ
・株式総数	150,000株
・株主	テイ・エス テック株式会社 100%
・事業の内容	アジア・欧州地域の統括管理、開発及び支援

② 設立の目的

アジア・欧州地域における連結子会社に対する統括機能の強化を目的としています。